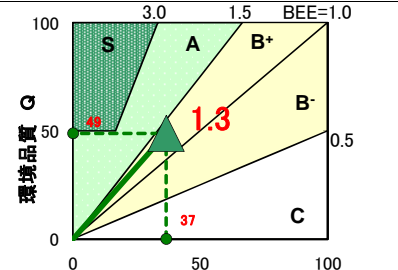
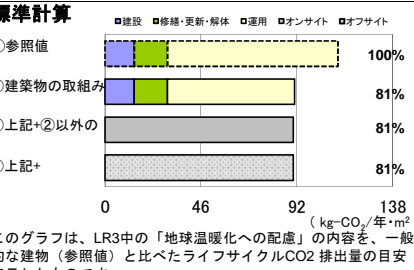
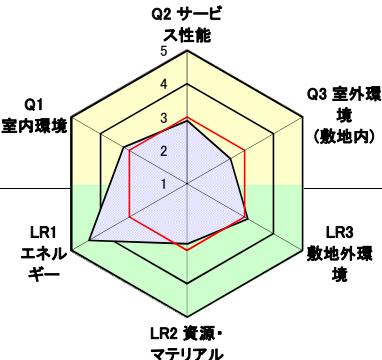
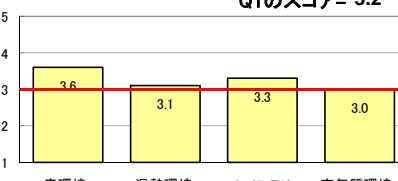
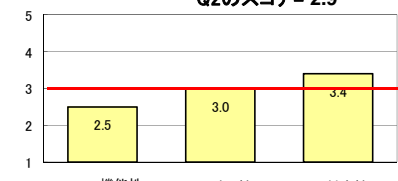
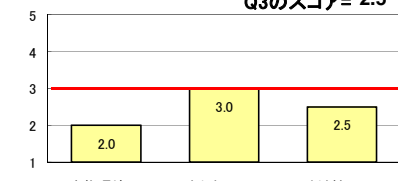

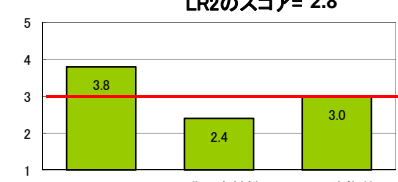
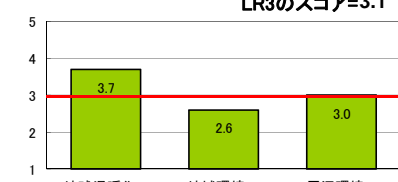


CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.1.22)

1-1 建物概要				1-2 外観	
建物名称	かんでんエンジニアリング (仮称)	階数	地上7F		
建設地	大阪府摂津市新家2丁目356-1,356	構造	S造		
用途地域	準工業地域 準防火地域	平均居住人員	500 人		
気候区分	6地域	年間使用時間	XXX 時間/年		
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	平成28年7月 予定	評価の実施日	2014年7月8日		
敷地面積	10,385 m ²	作成者	舟窪 眞吾		
建築面積	1,183 m ²	確認日	2014年7月10日		
延床面積	7,713 m ²	確認者	益田 勝郎		

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.3 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p> 	<p>☆☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p>  <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Q のスコア = 2.9</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.2</p> 	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.9</p> 	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.5</p> 
<p>LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.5</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.4</p> 	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.8</p> 	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.1</p> 

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>準工業地域ではあるが、敷地外周に低層住宅が数多くあり日影、騒音、住宅へのプライバシーに配慮した計画としている。</p>	<p>その他</p> <p>特になし</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>遮音に配慮している。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>事務所棟の各階にリフレッシュコーナー、喫煙室を計画。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>近隣住宅棟に配慮し敷地境界側はすべて緑地としている。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>ビルエネルギー・マネジメントシステム導入によりモックアップを可能としている</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>雨水利用を植栽の散水利用をしている。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>近隣住宅に配慮して植栽計画としている。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H27-0005

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

【建物概要】	建物名称	かんでんエンジニアリング (仮称)大阪北事業所(事務所棟)
	建設地	大阪府摂津市新家2丁目356-1,356-4,1119-1の一部,1119-8
	用途/区分	事務所

【評価結果】	CASBEE 総合評価		B+																
	CO2削減		4																
	省エネ対策		4																
	みどり・ヒート アイランド対策		2																
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	<table border="1"> <tr> <td>太陽光発電</td> <td>○</td> <td>風力</td> <td>—</td> <td>地熱</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>太陽熱利用</td> <td>—</td> <td>水力</td> <td>—</td> <td>バイオマス</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	太陽光発電	○	風力	—	地熱	—			太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—			
太陽光発電	○	風力	—	地熱	—														
太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—														

エネルギー消費量の報告		報告しない
-------------	--	-------

【評価項目】				
省エネルギー対策		① CO2削減		
		② 省エネ対策		
項目	評価内容	スコア	評価	
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.7	4	
② 省エネ対策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」のスコアによる評価	3.0	
		建物全体		
		住戸・宿泊		
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	5.0	4
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	4.8	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価	3.5	
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価	3.8		
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない	
みどり ヒートアイランド対策	③ みどり・ヒートアイランド対策			
項目	評価内容	スコア	評価	
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	2	
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	2.0		
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	2.0		
その他				
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項		
	太陽光発電			
特に配慮した事項				